

藤香会だより

明日にむけて

藤香会 名誉顧問 黒田長高



時が経つのは早いもので、父長久が逝去してからもう一年余が過ぎました。東京では二月に一年祭が執り行われました

が、先日の崇福寺での如水公法要の際にも藤香会の取り計らいで一周忌追悼法要までしていただき、大変感謝しております。また皆様のご厚情には御礼申し上げます。

藤香会も、現在はその前身である報古会とは会員の条件も変わってきており、広く門戸を開けてきているのは大変良いことと思っております。やはり時代の流れのせいも、福岡と黒田家の関係を知らない人が増えてきてしまっており、その関係を再認識する意味でも一般の人にも会員になってもらい、その活動を通じて福岡における黒田家とその歴史をよく知ってもらう必要があると思います。

折しも、若者の間では現在は戦国時代ブームと言われておりますが、そのブームの中で自分の街とその戦国武将がどうかかわっていきその街ができていったか、ということを知る必要もあると思います。特に福岡では、戦国時代のあと黒田家が関わってきたところが非常に多く、その形跡は文化面も含め様々なところで見られます。そのようなことを、藤香会を中心とした地元の方々と様々な方法で、もつと若者にPRし街の発展に役立ててほしいと考えております。父が亡くなり私の代になっておりますが、藤

第9号
平成22年7月1日発行
発行者 藤香会事務局
092-541-8268
発行責任者 中島 敏行

平成二十二年総会開催

五月二十三日(日)、会則による定期総会が鳥飼八幡宮の参集殿で開かれました。

当日は雨模様で、時おり雨も落ちてくる一日でしたが、山崎拓会長をはじめ四人の出席がありました。総会に引き続き約三〇分の「卓話」があり、「親睦会」では自己紹介で会場が一度になごみました。

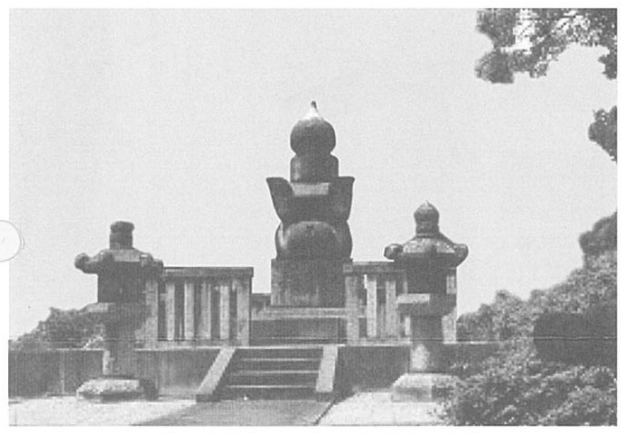
1. 総会での主な決定事項

(1) 役員

| | |
|------|-------------|
| 名誉顧問 | 黒田 長高 |
| 会長 | 山崎 拓 |
| 副会長 | 中島 敏行 |
| 事務局長 | 毛屋 嘉明 |
| 会 計 | 田島 満行 浜田 泰祐 |
| 広 報 | 平田 善積 |
| 監 事 | 木下 正 篠原カズエ |
| 理 事 | 田中 鎮夫 平山 芳子 |
| | 尾崎 元治 関 武吉 |
| | 森 恍次郎 馬頭 徹夫 |
| | 櫛橋 玲子 高倉 清子 |
| | 大島 泰治 川崎 賢治 |
| | 因幡 敏幸 村松 伸哉 |
| | 天本 孝久 |

(2) 周年記念事業

- ① 「藤香会創設一二〇周年記念碑」除幕式
- ② 平成二十二年十月十二日(火)(予定) 式典 崇福寺黒田家墓所



東長寺境内にある黒田光之公の墓標

2. 卓話

講師 福岡市教育委員会
文化財整備課 比佐陽一郎氏
テーマ 「福岡市における文化財保護の現状」

〈卓話の要旨〉

文化財保護法でいう「文化財」とは、文化的価値を有するもので、「保護の対象」とされる

東長寺で

福岡藩主黒田忠之公のご法要

二月十二日は、第二代藩主忠之公のご命日で、毎年この日に、東長寺に祭られている、三代光之公、八代治高公の回向も一緒に営まれています。回向のあと、「第三代藩主黒田光之公について」の題で、紅葉八幡宮の平山晶生宮司さんの卓話がありました。

光之公は数奇な境遇のなかでお生まれになり

ものを言います。法律では文化財を、有形・無形・民俗および記念物の四つに区分し、指定は国、県、市町村がすることになっています。講師の比佐氏はパワーポイントを使って膨大な内容をビジュアルで紹介されました。ちなみに、市内で一番大きな文化財は、福岡市指定の有形文化財「曲淵水源地水道施設」で、反対に一番小さいものは、黒田家から福岡市に寄贈された国宝の「金印」だそうです。

ました。それだけに神仏の信仰が篤く、藩主として三十四年間在位され、八十一歳の長寿を全うされた方です。

伝承によると、あるとき光之公の父君忠之公がタカ狩りで早良郡橋本に行き、藩の別邸である御茶屋に寄られました。村はちようど田植えの時期でしたが、田植えをしていた娘さんが知らず投じた稲苗の束が、田んぼの泥をはねて、忠之公の衣服にかかってしまいました。

娘さんは自分の粗相に恐れいつて忠之公のところに謝りに行きました。これが縁となってその娘さんは忠之公に見初められ、お城に上ることになりました。この方が光之公の生母で、のちに継室となられた養照院です。

光之公は、橋本の地で生をうけられますが、正室の子でないたため、母君とともに三歳のとき、家老の黒田一成の計らいで那珂郡春日村(現春日市春日)に匿われることになりました。光之公が正式に江戸城内で、將軍徳川家光公から、「光」の一字を贈られたのは八歳の時でした。

光之公は、藩主となってからも橋本村にある紅葉八幡宮を自分の産土神として崇敬されていましたが、いつでも参詣ができるようにと三十九歳のとき、お宮をお城の近くに遷されたのです。光之公は藩主として藩政の確立に力を注ぎ、「黒田家譜」の編纂や小石原窯創設、ハゼ栽培など、産業育成に尽力されました。藩主を退かれてからも約二〇年の間、藩政から目をはなされることはありませんでした。

黒田如水公四〇七回忌ならびに 黒田長久公一周忌ご法要

三月二十日、如水公の祥月命日に、昨年ご逝去された黒田家第十五代長久公のご法要が崇福寺で営まれました。

第十六代黒田家当主長高様はじめ、山崎拓藤香会会長以下会員と一般市民の参列者あわせて、五三名が歴代福岡藩主のご冥福を祈りました。御導師は岩月海洞住職でした。

黒田家第十六代当主 黒田長高様の歓迎会開催

藤香会は三月二十日、長高様のご来福を機会に歓迎会を開きました。

山崎拓会長を初めとする会員と、来賓として黒田家にご縁のある方々に出席していただきました。

吉田宏福岡市長も駆けつけて来てくださり、ご挨拶をいただきました。市長は、先代長久公と東京で一度だけお会いの機会があったということです。その折、世界的に著名な鳥類学者の長久公が、「福岡の名鳥干潟は渡り鳥のナショナル エアポートですよ。」と話されたそうです。これは長久公が鳥の生態をとおして、福岡の環境保護を暗にご教示くださったのではないかと。

また帰りに、長久公は自分で描かれたアカシヨウビンの絵一枚を贈られたそうです。

アカシヨウビンという鳥は、溪谷にすむ美しい美しい鳥で、群れをつくらず孤高に生きる鳥です。この絵も、政治家として忘れてはならない、ある暗示を与えていただいたのではないかと。

吉田市長はこのようにあいさつされ、長久公を偲びながら、黒田家当主長高様のご来福を歓迎されました。

藤香会関係 昨年度の主な行事とイベント

| 月日 | 行事・イベント |
|-----------|--|
| H21.4.4 | 「市民の会」、福岡城観桜茶会、を開催 |
| 4.16 | 東京青山霊園にて黒田長久公五十日祭。中島敏行藤香会副会長参列 |
| 4.20 | 光雲神社 春の大祭。中島副会長出席 |
| 5.3 ~ 5.4 | 「市民の会」、博多どんたく港まつりにく福岡城演舞台>を設ける |
| 5.23 | 定期総会開催。鳥飼八幡宮 参集殿にて 歴史卓話：「黒田長久様を偲ぶ」 福岡市博物館顧問 田坂大蔵氏 |
| 8.2 | 崇福寺黒田家墓所の草刈りと掃除。参加者81名、うちボランティア14名 |
| 8.4 | 崇福寺にて、長政公ご法要ならびに長久公初盆会。参詣者、約50名 |
| 9.5 | 第5回「秋の勉強会」 講師 福岡市博物館 宮野弘樹氏 「福岡藩主黒田家菩提寺を飾った荘厳具等について」 |
| 9.12 | 「藤香会創設120周年記念碑」建立委員会、第1回会議 |
| 9.25 | 「黒田官兵衛を大河ドラマに！」一姫路市キャンペーン隊が来福 |
| 10.4 | 「市民の会」、福岡城観月会、を開催 |
| 10.24 | バスによる「福岡藩ゆかりの史跡めぐり」一糸島地区と福岡市西区を中心に。31名参加 |
| H22.2.12 | 東長寺にて、第2代藩主黒田忠之公・第3代光之公・第8代治高公のご法要。 卓話：紅葉八幡宮 平山晶生宮司 「第3代福岡藩主黒田光之公について」 38名出席 |
| 2.20 | 東京にて、黒田家第15代黒田長久公1年祭。 中島敏行副会長参列 |
| 3.14 | 崇福寺黒田家墓所清掃。ボランティアを合わせて94名参加 |
| 3.20 | 崇福寺にて黒田如水公ご法要並びに長久公追悼ご法要。 53名参詣 <黒田家第16代当主黒田長高様歓迎会> 開催 |

会員クリック⑧

史跡めぐりに参加して

藤香会理事 尾崎 元治



私が藤香会に入会させていただいたのは、前副会長の山内勝也先生の推薦によるものでした。早いもので、入会して四〇年近くになります。

当時、藤香会は年中行事の総会や、崇福寺と東長寺でのご法要のほか、紅葉八幡宮で

山内先生主催の歴史研究会があり、秋には史跡めぐりがありました。歴史研究会では黒田藩の歴代藩主や家臣の方々の興味あふれる話を聞かせていただきました。史跡めぐりでは、如水公が築城された中津城や福沢諭吉邸を見学したのが、つよく印象に残っています。

如水公は、秀吉から九州平定後の論功行賞で、豊前六郡十二万石を拝領しましたが、当時の世人には、「あれだけの功績を上げた割には恩賞が少なすぎる」と映ったと思われます。秀吉はケチな人物だと思いましたが、むしろ大禄をやると、危険だと思われたのではないのでしょうか。

いろいろな想像して楽しみました。その他、黒田家にゆかりのある朝倉方面や直方、鞍手地域の歴史スポットめぐりもいろいろと思ひ出します。田原坂の見学の折は、大型バスから中型バスに変更になり、窮屈な思いをしましたが、道の狭いところを通ったとき、大型バスだったら通れなかったと、偶然を喜んだことも今では忘れられない思い出です。

私は長年藤香会の監事をさせていただきましたが、数年前から内臓を患っておりますので、この五月で役を交代させていただきました。しかし、これからも藤香会の行事には努めて参加していきたいと思っています。

お知らせ

諸岡京子会員が四月二十四日に逝去されました。藤香会事務局長で七十九歳でした。長い間、事務局で会務を処理し、文書類の作成・発送などは家族ぐるみで作業にあたり、会の運営を支えてこられました。長重重員が五月二十五日に逝去されました。前黒田奨学会理事長で、九十三歳でした。古くからの会員で、奨学会と藤香会の相互理解に尽力されました。謹んでご両名に哀悼の意を表します。

編集後記

今年三月二十八日から四月四日まで、第一回「福岡城さくらまつり」が、さくら咲き誇る舞鶴公園(福岡城跡)で開催されました。主催は福岡市と福岡市教育委員会です。何か確かな息吹が感じられるようです。(平田)



福岡城の夏のお堀には
睡蓮ががりりしく花開く